

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

▼ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		具体的にスローガン、モットーをかけた理念をサービスの基本的姿勢や手法となる様努力している。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		ただ呆然と読むのではなく、心に刻み、行動に移せるように取り組んでいる。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		わこうの丘新聞を隔月に発行しているが、スペースをきっちり取り載せている。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		管理者は、自治会の班員であるため日常的に友好を深めている。職員も通勤途上、会釈、対話に応じている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		祭りの花作りもスタッフ、利用者が参加し協力できているし、近隣の方々との顔見知りの輪が広がっている地元の中学、高校より体験ボランティアが来る。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>多機能ホールでの自治会、長寿会のカラオケ大会の会場として使用していただいている。他、習字・踊りの練習にも使っている。</p>		<p>利用者様が気軽に地元の高齢者との交流を深められる様、イベントの企画・実施している。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義は、理解している評価の結果、更なる課題の努力の取り組みは今後の課題である。</p>		<p>年2回の自己評価の取り組み更なるサービスの質の向上に努めたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議での問題提言、意見等1つ1つサービスの向上につなげている。</p>		<p>防災訓練等、地元の分団との関わりにアドバイスいただき早速実行できた。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所連絡協議会等参加、担当職員との連携を深めている。</p>		<p>特に困難事例等なるべく積極的にご指導いただき対応している。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>学ぶ機会は十分ではない。</p>		<p>権利擁護制度の学習会を開催する予定である。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>注意を払い見落とさない努力をしている。</p>		<p>虐待の防止は具体的には家庭内難しいが、発見後の市町村への連携はできている。今後も努力していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に時間をとり丁寧に説明している。特に起こりうるリスクと看取りについての対応は重要と思う。</p>	<p>更に、努力していく。医療連携や看取りについては十分に配慮をし、同意を得るようにしている。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見や要望を話の中から汲み取る努力をしている。ケアや日常生活に反映させ利用者本位の運営に心がけている。</p>	<p>食後、スタッフ共々テーブルに着く機会があるので、不満や要望いきたいところ(買い物・食事)等利用者の意見を汲み取る。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来所時に、かなりきめ細かく報告している。暮らしぶりはわこうの丘新聞に載せている。</p>	<p>来所持、何でも言ってもらい、出された事は朝礼で話し合い反映させている。こまめに来所してくれる家族以外</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>来所持に必ず家族との話をできる機会を作っている。</p>	<p>今後、家族会を設けたいと思っている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティング時に意見、要望を聞くようにしている。日頃よりコミュニケーションを取っている。</p>	<p>ミーティングに出された意見、要望を議事録に残し最優先事項から、反映させている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者のニーズに対応できる様体制を努めている。</p>	<p>利用者の自由な暮らしができる様(起床時や就寝時)対応できる様に努めている。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>配慮している。なるべくなじみの職員が継続して支援できる様している。</p>	<p>職員を固定化し、なじみの支援ができる様にしているが、新しい職員が入る場合、きちんと紹介し、早くなじめる様にしている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修、外部研修に力を入れて、人材育成に取り組んでいる。		研修報告は全体会議で発表してもらい、記録の報告は全員が閲覧できる様にしたい。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の事業所との研修交流を行っている。		相互の訪問の交流研修で勉強し、サービスの質の向上につなげている。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会、バーベキュー大会、カラオケ大会等ストレスの軽減に向けた取り組みをしている。		日帰り旅行、ボーリング大会、食事会では年間行事として開催するが日々日常的に休憩場所の確保や気分転換できる様考慮する。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	現場での能力評価をいかした実践を見守り応援していく。各、資格取得に支援していく。		働き甲斐のある現場環境を整えてあげたい。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族や本人が安心できる初期の対応は大事にしている。		本人の状況を把握することが信頼に繋がるとし、必ず本人と何回か会う機会を作る。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	何度か訪問し、話し合う機会を作っている。		安心してサービスが受けられる様、不安をなくす為にゆっくり話し合う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	慎重に丁寧に話を聞くことから始め、見極めをし、柔軟な対応に心がける。		「その時」必要としている支援を誤らずに抱え込むのではなく、包括等、他にも繋げていく。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所でのなじめる様に本人が納得できる様にしている。		安心して生活できる様、ゆっくりとすすめていきたい。その後の安定的利用に繋げていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者に教えてもらうとの根本理念で、声かけ等していく。		本人の苦しみ、悩み喜びなど暮らしの中で知ること努め、共に支え合える関係作りをしたい。
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	共に支え合う関係を努める。		来訪時には、御本人と家族のより良き関係を保つよう配慮している。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	1人1人の生活習慣を支え尊重している。		美容院へ行ったり、お墓参り行ったり、個々の生活習慣を大切に継続させたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの人や場所の関係がとぎれない様に、手紙のやりとりや訪問してもらっている。		今までの生活上の延長であるようになじみの人ととぎれない様働きかける。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆で楽しく過ごせる空間や時間づくりを支援している。		職員が調整役になりゲーム等場面づくりをしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他に移行しても遊びに行ったりし交流している。		行事等のお知らせし、地域住民として、関係を大切にしている。
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	十分に時間を取り話を聞いてあげる。		本人の言葉にすらい思いを日々の行動や表現から読み取って把握し、真意をおしはかり、それとなく確認している。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の生活の中での会話から把握に努めている。		本人自身の語りや家族から聞いている。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々総合的に把握している。		本人の行動や小さな動作よりできること、できない事を把握して努めていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	充分とはいえない。		利用者主体の暮らしを反映した計画を作っていく。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	充分とはいえない。		計画の遂行状況、効果など評価し、スタッフの記録の状態変化に応じて見直ししていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録し、介護計画の見直しに活かしている。		記録の確認は勤務開始前には読む事を義務付けている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊など家族の状況に合わせている。重度化した場合の柔軟な体制に取り組んでいる。		家庭で誕生日会を家族揃って祝うなど、柔軟に対応している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人と地域との様々な接点を見出しボランティア、自治会役員等、協力してもらっている。		消防との連携は充分であるが地域社会資源である、図書館、公民館へ連携も計っていきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	努力している。		ボランティアによる傾聴サービスを受けたり、3B体操に参加したり生活支援に結びつくサービスを支援したい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働している。		運営推進会議に参加してもらい、情報交換等、協働している。更に深めたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	適切な医療を受けられる様にかかりつけ医と事業所の関係を築いている。		本人、家族の希望を大切にしかかりつけ医の受診を受けている往診もきてくれている。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>支援している。</p>		<p>今後更に強めていきたい。近くに専門病院があるので家族も安心しています。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>支援している。非常勤の職員が情報を共有し対応している。</p>		<p>看護職員が健康管理と状態変化に応じた支援を心がけている。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>連携している。</p>		<p>家族と医療機関と三位一体となって取り組んでいきたい。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>三位一体で。家族・本人・医療・スタッフで話し合いで方針を決定している。</p>		<p>スタッフの力量不足等問題は残りますが、家族の理解と医師の協力で重度化の方の支援をした。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>今後チームケアに向けて、検討している。</p>		<p>本人の気持ちを真ん中におき、家族の意向を話し合い、協力医と蜜に連携を図り、対応していきたい。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ダメージの防止を最小となる様、努めている。</p>		<p>これまでの暮らしの継続性を大事にできる様、細かく情報提供し本人に関わる関係者と協力して取り組む。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>1人1人の誇りやプライドを損なわない様に言葉かけや対応に注意している。</p>	<p>ミーティング時、固有名詞を出さない様に大声で話さない様に気を配っている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>自己決定を重視した支援を心がけている。</p>	<p>本人が選びやすい場面をつくれる様、スタッフは日常生活を把握し表情を読み取り、支援の努力をしている。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>買い物、郵便物を出したり、畑に野菜を取りに行く等、ニーズに応えられるよう努めている。</p>	<p>なるべく、その日、その時、本人の希望にそう支援を心がけている。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>美容院は、本人の希望するお店へ行っている。足の不自由な方の為にボランティアのカットの日を設けている。身だしなみに気を配っている。</p>	<p>スタッフの着ている物に反応を示し、綺麗・素敵などの声がかかる。身だしなみに本人の意向を手助けしている。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備は皆協力してくれる。「何か手伝うことはありませんか」と常に仕事を探して、楽しんでいる。</p>	<p>食事作りと片付けは皆喜んで手伝ってくれる。役に立てるとの誇りと喜びが顔に表情として出る。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>日常的ではないが努力している。</p>	<p>食事会、月毎の誕生日会にはお酒を出している。おやつも工夫し、なるべく希望にそう様に支援している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>声かけや表情定期的な時間をみて支援している。</p>		<p>1人1人の習慣やパターンを把握し気持ちよい排泄の支援を行っている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>希望やタイミングを大事にしている。</p>		<p>入浴拒否される方への声かけやタイミングを見ての入浴への誘い等、現場では苦勞しているが、入浴して頂けたあとの嬉しそうな表情に救われる。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>状況に応じている。</p>		<p>1人1人の個別対応を支援している早く寝る人、遅くまで起きている人様々な状況にも対応している。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>絵を書く人、俳句作る人様々な生活感の中で、生活歴や力を共有し、楽しみながら日々を過ごせる様に支援している。</p>		<p>エプロンをかけて台所を手伝う。掃除をする。花をいける。縫い物をする。書や絵手紙に楽しむ等様々です。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>連携している。</p>		<p>買い物、パーマやさん等、希望にそう様に支援する。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>戸外に出かけることは多い。</p>		<p>晴れたら、散歩、外でのお茶、体操等工夫している。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>月に数回ある。利用者一同で外食、博物館、動物園。家族と教会や食事に機会はある。</p>		<p>入り口には、手作りの案内板を掛けベンチで一休みできる様、玄関先にはプランターを置き花を楽しんでもらっている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由にやりとりできる様に支援している。		玄関の電話を利用してもらっている。手紙やハガキも、スタッフ同行でポストの投函まで見守っている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも立ち寄っていただけるようにしている。		気軽に来所できるようスタッフ共用ができており接遇も注意しているので、かなりの訪問者がいます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	しないケアの実践をしている。		スタッフ一同、正しく理解し、拘束をしないケアを実践している。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実施している。		玄関及び居室はカギをかけないので、ふらっと外出する人の為、見守りを十分に配慮している。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフは同じ空間で記録を取るなどし、見守りを十分している。夜間に関しても十分配慮している。		外にでてしまう人には、距離を置き自然に見守りができる様子を配っている。居室にいる1人1人にも時間ごとに支援している。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	配慮している。		利用者の状況に合わせてながら保管している。アイロン等できる人は保管場所より使用し、使用後のかたづけ等もしっかりと行っている。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリ・ハットの報告と記録を残している。		ヒヤリ・ハットの教訓を次に活かしていく。また、対策へとつなげたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応をマニュアルにして学習している。		初期対応の訓練を定期的に取り入れたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の人々、分団の消防員さんとチームを作り、応援体制ができています。		年2回、マニュアルを作り消防隊の協力、地域の自治会の応援をもらい、避難訓練・消化訓練等を行っている。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	サークル活動や外出や外食時にリスクが高くなるが、本人の喜びの表情が謙虚なので、家族に理解してもらっている。		ホームでの取り組みを丁寧に説明し、理解してもらえる様に努力している。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常的に利用者の普段の様子を把握しており、体調の変化を見落とさずバイタルチェックで速やかに早期発見につなげている。		変化が見られたら、すぐ看護師につなげている。そして、医療受診へと速やかに行っている。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	心身上の変化を見落とさずチェックし、記録物に残す大事な支援とスタッフが共用している。		申し送りを十分に行い、1人1人の薬の処方や用量の変更に注意している。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材の工夫や散歩や運動を取り入れて、なるべく自然な排便ができる様にしている。		午前中の涼しい時間に散歩をしてもらっている。畑へ野菜を取りにいってもらったり、なるべくテーブル拭きをしてもらうなど、体を動かす機会をつくっている。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1人1人の力に応じ、対応している。		他人に触れられるのを嫌がる人に対して気持ちを配慮しているが、毎日気分が変化するので、声かけに気を配る。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録はもちろんのこと、水分に関しては十分に支援している。各自の嗜好を把握し、献立に取り入れる。		栄養摂取は今後、管理栄養士さんに定期的にチェックをして頂きたい予定である。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作り、学習を行ってはいるが、十分とはいえない。		家族理解のもと、利用者全員とスタッフがインフルエンザの予防に心がけている。ペーパータオルの利用などがかなり改善された。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	努めている。まな板、布巾等漂白し清潔保持している。食材は毎日使い切る事に努力している。残りの点検している。		水まわりは毎日清潔にしている。冷蔵庫は曜日を決めて、庫内を清掃し食材の残りの点検をしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は安心して出入りできる様になっている為、家族、町内の方の訪問が非常に多い。生花を切らず、金魚も飼っている。		入り口には、手作りの案内板を掛けベンチで一休みできる様、玄関先にはプランターを置き花を楽しんでもらっている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の居間、食堂に額に入った絵画や書を飾り、美術鑑賞ができる様に工夫している。季節感を味わえる置き物、花等に意識している。		台所の音、静かに流れる音楽等、生活感を出している。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先には、金魚の水槽、外を眺められる位置にソファー、ピアノを奏でたい人にはピアノの位置など工夫している。		栄養摂取は今後、管理栄養士さんに定期的にチェックをして頂きたい予定である。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫している。家族の写真や猫が好きな方はポスターを飾っている。		家族が工夫してテーブルやタンスの上に綺麗に並べてくれている。本人の生活がかいまみられる。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	スタッフがこまめに調整するよう申し送りをしている。2時間毎に空気の入換えをし、トイレは換気扇と消臭剤で工夫している。		現状維持。問題があがった時は、スタッフと話し合いを持つ。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	テーブルの高さ、イスの調整、手すりの位置に配慮している。特に階段は広く高さも低めに、リハビリ効果を狙っている。		今後、家族会を設けたいと思っている。台所のシンクの高さ等、細かな所にも気を配り本人の活動性を維持できるように。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	様々な工夫をしている。風呂場、トイレ等のれんの設置		その都度、スタッフと話し合い、再度検討して慎重にしている。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	活かしている。庭園には季節の花、農園には、ジャガイモ、サツマイモを皆で育てている。桜の木、梅、花瓶と各種の花木に囲まれ利用者が喜んでいる。		貴重な資源である畑をどうにか生かしたい。区画割して、様用と看板書き目的と責任を明確にして苗を育てられたら、最高の生きがい作りになる。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)